

# ローターアクト 海外研修報告

## in Cambodia (Phnom Pehn)

地区ローターアクト委員会 委員長 **山本和良**  
(大阪南RC)

地区ローターアクト 代表 **北島一平**  
(大阪御堂筋本町RAC)

11月22日(土)~26日(火)に海外研修を行いました。海外研修は、

1. 他地区のローターアクトとの交流
2. 現地ローターアクトとの共同奉仕活動
3. 研修参加者が和やかで友好的な雰囲気を持ち、安全で秩序ある団体行動を続ける為に、研修プログラムを精力的かつ主体的に消化し、参加者全員が有意義な海外体験を積み、今後における国際奉仕活動の学習を行う。

を目的としています。

今年度の行先は、カンボジア王国・プノンペン。第3350地区プノンペンメトロRACを訪問いたしました。当地区よりRA委員3名、ローターアクト23名の計26名が参加いたしました。

### 【11/22(土)】

朝、関西国際空港にて結団式を行い、一路カンボジアへ。

到着後、プノンペンメトロRACと合流し、食事へ。食事をしながら、英語で自己紹介を行い、お互いに交流を図りました。

### 【11/23(日)】

プノンペンメトロRACが支援しているタケオ州の孤児院へ。悪路をバスで3時間、川を船で15分、やっとのことで到着しました。

ここでは、プノンペンメトロRACと共同で子供たちに歯磨き、手洗い指導、カンボジアの遊び、日本の遊びを教えました。日本の遊びはグループに分かれ縄跳び、紙相撲、折り紙、けん玉を行いました。

最後に子供達に学習用具、歯ブラシセット・ユニフォーム等を寄付しました。学習用具を受け取る子供達の笑顔に、今後のカンボジアの発展を強く願いました。

### 【11/24(月)】

プノンペン市内のコミュニティセンター2施設を訪問し、現地の子供たちと日本の遊びを通じて交流しました。

ここでも学習用具を寄付しました。子供達からはカンボジアの伝統舞踊を披露してもらいました。

昼食は今年6月末にオープンしたイオンモールで取りました。吉野家や銀だこなどの日本の飲食店も出店しており、久々の日本の味を噛みしめました。

夜はExchanging Partyが催されました。代表の北島による2660地区の紹介、プノンペンメトロRAC Brembrey会長によるクラブ紹介、双方から出し物(当地区は男子がソーラン節、女子がドラえもん音頭)を披露しました。

### 【11/25(火)】

セントラルマーケットを散策し、トゥール・スレン虐殺犯罪博物館を見学しました。

1975~1979年にクメール・ルージュが「革命に学問は不必要」という理由で、医者や弁護士等の知識人をはじめ罪のない人々を次々と捕え、強制労働させ、また仏教の廃止や親族解体も行いました。当博物館は、当時無人だったリセ(学校)を尋問・拷問する場所に転用し、2年9ヶ月の間で14,000~20,000人が収容されたとされる施設です。のどかに見えるカンボジアも悲惨な過去があったと感じさせられました。

### 【11/26(水)】

前日にプノンペンを発ちホーチミン経由で早朝に関西国際空港に到着し、解散いたしました。

ポル・ポト政権が崩壊し25年が経過しましたが、今日のカンボジアの発展においてもその影響は大きく残っています。特に教育分野においてはその影響は特に深刻です。

知識人の虐殺により、現在も教師等の教育者が不足している状態です。学校の多くは破壊されたため、子どもたちの学ぶ場も不足しています。インフラも不十分で、舗装されていない道路も多くあります。孤児院でも下水機能がなく衛生面にも大きな問題がまだまだ残っています。

我々、日本のローターアクトも何かできることが

あるのではないかと、やらなければならないと考えさせられました。

一方でプノンペンの発展は目指しく、街全体が活気に溢れています。再度、訪問した際にどれだけ変わっているか楽しみです。

トラブルも起こりましたが、トラブルや不測の事態にいかにか臨機応変に対応できるか、そのトラブルをいかに楽しむかということが海外研修の醍醐味でもあると考えております。

海外研修ではローターアクターの仲間もグッと近くなります。

今回の研修で学んだ事、深まった絆を今後のローターアクト活動に活かしたいと思っております。

参加したローターアクターは、今後もプノンペンメトロRACと交流していただきたいと思っております。

Chris会長をはじめとするプノンペンメトロRCの皆様、Brembrey会長をはじめとするプノンペンメトロRACの皆様、ありがとうございました。

